

勤務医委員会 NEWS (静岡県医師会)

Vol. 19 (2023年2月号)

～静岡県医師会長から未来の医療を担う

若手医師へのメッセージ～



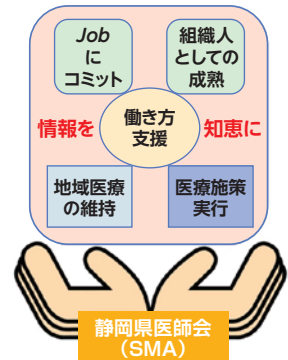
皆さん、こんにちは。静岡県医師会長の紀平幸一（きのひらこういち）です。これからの医療を支えていく若い医師の皆さんへ今回の「勤務医委員会NEWS」でご挨拶させていただく機会を得ました。

新型コロナウイルスの感染者が国内で初めて確認されてから丸3年が経ちました。この間、医療界は、その対応に追われてきました。皆さんの勤務されている医療機関も例外ではなかったでしょう。ウイルスは変異を繰り返しながら弱毒化し、いまや世界各国で監視や検査などが緩和され、ウィズコロナ時代が訪れています。コロナが、私たちの日常診療の範疇に入ってくるのも間近のように思います。

コロナの影響と言われていますが、昨年の全国の出生数は、初めて80万人を下回りました。一方で高齢化は進行を続け、全国の65歳以上人口は、2040年に約3,900万人と、全国民の35%、国民の3人に1人が高齢者となります。そして4人に1人は75歳以上の後期高齢者になると推計されています。その結果、医療需要も大きく変化し、全国の外来患者数は2025年に、入院患者数と在宅患者数は2040年にピークを迎えることが見込まれています。このように、将来を担う若い皆さんが医療を提供していく社会は、誰も経験をしたことのない未知の世界なのです。

高齢化の進行による疾病構造の変化、さらなる新興感染症への対応という近い将来におこることだけでなく、今現在も医療を取り巻く状況は、ますます複雑さを増し、かつてないスピードで変化しています。オンライン資格確認や電子処方箋などといった医療DXの推進、勤務医にとって大きな影響が予測される「医師の働き方改革」、喫緊かつ重要な課題への対応を迫られているところです。

いつの時代にあっても私たち医師に求められるのは、患者に安心して医療を受けてもらうということに尽きます。医師は、多くの方の人生の岐路に関わります。自分よりずっと長く生きてきた方に先生と呼ばれて、命を預けられ、多様な医療従事者によるチームをまとめるリーダーとして全力で医療を提供していかなくてはなりません。一方、法律や制度は時代とともに変わり、医療は日進月歩で発展しています。その中であって、地域のこと、患者のことを第一に考え、良い医師であり続けるために学び続けていくこととなります。



そうした医師が、地域のそして日本の医療を支えているのだと私は思っています。

こうした先生方を支援していくことが、医師会の大きな役割です。これからの医療界を支える皆さんにとって医師会は大きな力になれると信じています。例えば、医師会へ入会していただくと日本医師会医師賠償責任保険も15,000円と他に比べて安価に加入できます。その後に、産業医資格を取得するもよし、各種研修会に参加するもよし、また、自動車の特別割引や低金利の融資、医学書の購入支援、各種保険の割引など有利な福利厚生事業の活用も可能です。私は皆さんにもっと医師会のことを知っていただきたいのです。来年度から日本医師会と静岡県医師会の会費を、医学部卒後5年目まで免除する制度が始まります。これを機に皆さんが医師会の仲間となり、ともに歩んでいただけることを希望し、私からのメッセージといたします。

～ 静岡県医師会の活動紹介 ～

若い勤務医の先生方の中には、医師会がどのような団体なのかご存じない先生も多くいらっしゃると思います。そこで、静岡県医師会の活動内容等をQ & A方式で紹介したいと思います。

Q 1. 医師会は「開業医」のための団体じゃないの？

A 1. 日本医師会の会員数は約17万人ですが、実はその半数が「勤務医」です。開業医だけではなく、勤務医の要望等もとりまとめ、国や県等へ現場の声を届けています。

Q 2. 医師会は何してるの？

A 2. 健康相談、予防接種、各種健診・がん検診、母子保健、学校保健、産業保健等の「地域保健活動」や、警察医等の「行政活動」、さらには、在宅当番医や休日夜間急患センターの業務等、時間外・救急対応に協力し、地域医療に貢献しています。災害時には、地域の医療活動に参加し、被災者の健康管理や診療等を担います。また、県や市町が開催する会議に参加し、地域医療の確保や充実に向けた助言等を行っています。

Q 3. 医師会に入会するメリットは？

A 3. 主なメリットは以下のとおりです。

- ・医師会主催の研修会に参加する（原則無料）ことで、スキルアップ（専門医共通講習等）や各種資格取得（産業医等）につながる。
- ・会員専用のサイトから、医師会報や最新の情報を入手することができる。
- ・医師賠償責任保険に安価で加入することができる。
- ・医事紛争時に医師会（弁護士等の専門委員）の支援を受けることができる。

- ・勤務先や診療科の壁を超えた医師の仲間が増える。医師以外の多職種との交流の場がある。幅広い人脈ができる。
- ・地域における医療・保健・福祉等の活動への参加を通じて、様々な経験を積むことができる。活躍するステージが広がる。
- ・優遇措置の多い「医師年金」に加入することができる。
- ・書籍・自動車・マンションの購入時や、各種保険加入時に割引を受けることができる。
- ・自動車や住宅の購入、教育・開業等で資金が必要になった時に低金利で融資が受けられる。

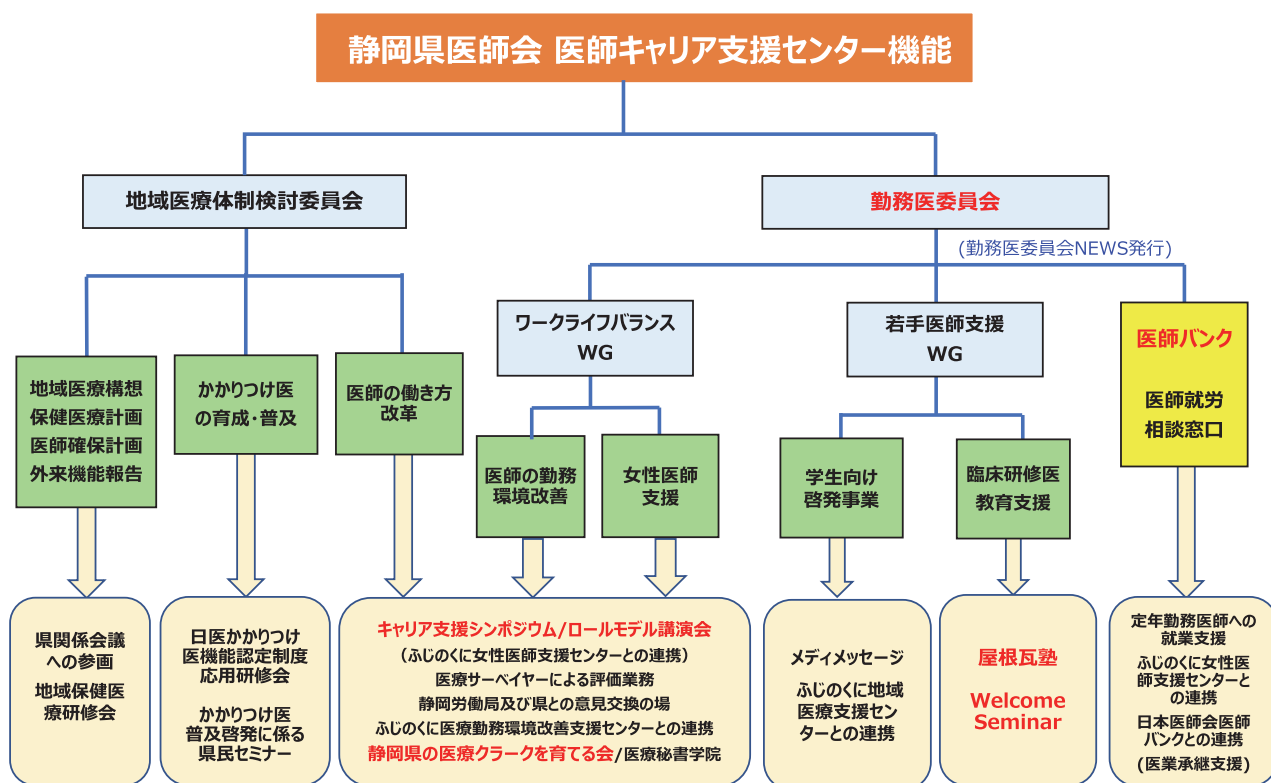
Q 4. 「勤務医」 向けの事業はあるの？

A 4. 本会では、『静岡県医師会 医師キャリア支援センター機能（図1参照）』として、勤務医が委員として参画する「勤務医委員会」を設置し、勤務医に関する諸課題について検討するとともに、静岡県、静岡県病院協会、浜松医科大学等と連携して、「勤務医」向けの様々な事業に取り組んでいます。

主な事業を紹介します。

【図1】 静岡県医師会 医師キャリア支援センター機能 体制図

テーマ：地域医療構想 医師需給・医師偏在対策 医師の働き方改革 かかりつけ医の育成・普及 等



<臨床研修医向け研修事業>

○屋根瓦塾 in Shizuoka

臨床研修医が、県内の優秀な指導医の教育を直接受けることができるブースラウ

ンド形式による研修会です。先輩医師から、より実践的な研修を受けることができます。

○Welcome Seminar in Shizuoka

臨床研修医を対象として『医師臨床研修指導ガイドライン』の中で研修が必須とされる項目（感染対策、ACP、虐待、緩和ケア等）をテーマに講義形式で行う研修会です。

受講者には「受講証明書」を発行しており、毎回200名を超える申し込みがあります。



<医師のキャリア支援事業>

○静岡県医師バンク

定年退職後の勤務医や女性医師の再就業だけでなく、キャリア支援を含む医師の就業支援、医業継承支援等を目的として「医師バンクシステム」を運用しています。

※興味がある方はこちらから☞ <https://shizuoka-doctorbank.jp/>



○医師キャリア支援シンポジウム

若手医師や女性医師のキャリア支援を目的としたシンポジウムを開催しています。

○ロールモデル講演会

女性医師や医学生等を対象に、妊娠・出産・育児時期のキャリアパス継続をサポートするための講演会を開催しています。

<タスク・シフト/シェア推進支援事業>

○静岡県の医療クラーク（医療事務作業補助者）を育てる会

医師等の負担軽減をはかるため、医師や看護師の日常業務をサポートする医療クラークの資質向上を目的とした研修会を開催しています。



* お問い合わせ先：静岡県医師会地域医療課

電話：054-246-6151 E-mail：drsupport@jim.shizuoka.med.or.jp